

## 特別寄稿

# 阪神高速道路グループのエンジニアの方々へ

元 常務取締役 南部 隆秋

What's new? Where are you?

私は、この二つの問いかけをずっと皆さんに投げかけてきました。

それぞれの業務の中で、設計の中で、施工の中で、何か新たな工夫はありませんか？

それらの中で、他の人ではなくあなたがいなければできなかったところはどこですか？

私たちの仕事の現場は、常に変化しています。必ず新しい問題が生じます。また、以前からの、まだ解決できない問題も無限に残っています。それらを解決するには新しい工夫が必要です。大きな新設の現場が減ってきているのは事実です。しかし、管理の現場は新設の現場よりも、ずっと技術的に難しい面があるのです。

小さな工夫や改良でもいい。進歩の大部分は、小さな努力の積み重ねの上に成り立っています。革新的な技術開発はなかなか実現できないかもしれません。しかし、どこの現場にもなんらかの改善改良の工夫をはかる余地はあるはずです。

**Improvement, Progress,  
Innovation.....**

These are  
the obligation of engineers  
Raison d'être of engineers

**PLEASURE of engineers**

改善、改良、進歩、革新。これらは技術者の責任であり、使命であり、存在理由です。

そして、何よりも、それこそが、技術者の喜びなはずです。

「吾々は、この日本の国土を祖先から受けて、子孫に伝える。〈略〉

吾々もこの国土を吾々が受け取ったままのものとして子孫に遺すのは、恥じなければならぬ。〈略〉

吾々はそれを前代から受け継いだよりも好いものとして、これを次代に引き渡さなくては済むまい。」

小泉信三「平生の心がけ」昭和28年

我々の先輩たちと我々は 50 年の歴史をかけて阪神高速道路を築き管理してきました。それを受け継ぎ、少しでもよくしていくことが、皆さんに託されています。道路という後世に残る大きな事業に取り組む皆さんには 是非この気概を持って仕事に取り組んでほしいのです。

**You have a privilege  
To realize your  
Will, Believes, And dreams  
Initiatives are yours**

そして、皆さんは、それを実現できる立場にあります。発注者としての権限があります。皆さんは、それぞれの思い、アイデア、夢を最も実現しやすい立場にあるのです。

多くの技術者がそれぞれの立場で問題の解決と改良のための努力をしています。しかし、発注者である皆さんが認めなければ、我々の現場での新しい技術の採用はできません。新たな取り組みにチャレンジする現場でのイニシアチブは、皆さんにあるのです。発注者側の技術者が、新たなチ

チャレンジをしなくては、日本の土木技術の進歩はありません。

そうはいつでも、なかなか技術力をつけられる機会がない。自分たちに技術者としての力が本当にあるのだろうか？という声もお聞きしています。

しかし、皆さんには、皆さんでなくては果たせない技術的役割と、皆さんだけが持っている技術力があります。



我々の立場は「オーケストラの指揮者」だ。という話を何度かさせてもらいました。

オーケストラの指揮者は、バイオリニストのように、あるいはトランペッターのようにそれぞれの楽器が演奏できるわけではありません。

しかし、演奏者たちの音を聞き分け、全体を調和させ、オーケストラの中でもっとも聴衆の反応を意識し、オーケストラの外の人たちとの関係を考えてうえで、自分の求める交響曲を作っていきます。

私たちは、設計計算や設計図の作成はコンサルタントの人たちのようにはできません。建設会社の人たちのように施工ができるわけでもありません。しかし、彼らの技術の可能性と限界を見極め、それを指揮し、調和させ、その力を最大限発揮してもらい、さらに外の世界と調整して全体のプロジェクトを実現することが私たちの仕事です。これは事業の実現のためには誰かがやらなくてはいけないことであり、皆さんが、今、毎日している仕事です。そして、この仕事のためには広い技術的知見を基礎とした「技術力」が必要です。

技術的にわからないことがあれば、先ほどお話ししたように、皆さんには受注者の方たちに聞ける権限があります。阪神高速の新入社員の質問にも、ベテランの協力会社の方々は真剣に答えてくれます。それが皆さんの力、専門分野に特化した技術力ではなく、幅広い技術的知見と視点から検討し指揮していく力、多くのパートナーをまとめ、引っ張っていく皆さんのプロジェクトリーダーとしての力になっていきます。その力は仕事に真剣に取り組んでくれている協力会社の人たちの力にもなっていくはずで。

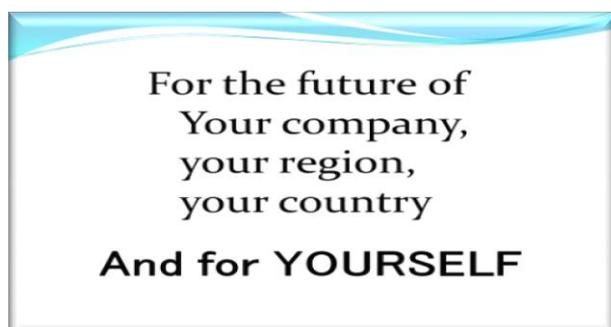
皆さんは他のパートナーが持っていない技術力を持っています。日々その力を高めています。



皆さんはできるのです。その力と権限を持っているのです。

自信を持ち 誇りを持ってください。  
皆さんがいなければ事業は実現できません。

がんばってください。そして楽しんでください。



この会社とこの地域とこの国の未来のために。  
そして自分のために